



# 未来を夢見て

2020/6/5 No. 15

## ちょっといい話

～821名の健やかな成長を願って～

6月5日（金）分散登校4日目。子供たちに顔を覚えてもらいたくて、通用門に立って3日目。本当に小野小学校子供たちの挨拶のよさには心が洗われる思いがします。特に6年生、さすがが最高学年。目を見て、しっかり挨拶してくれる子供たちの姿から、挨拶が学校だけでなく、御家庭でも大事にされていることを強く感じました。6年生は学校の顔。6年生の姿を見て下級生が学びます。また、何人か1年生の保護者の方ともお話ができて、ほとんどの皆さんから「学校が楽しいと家で話しています。」という声を聞かせていただけるので、とてもありがたく思います。

さて、先日、午後に通用門に立っていると、3年生の男の子が血相を変えて私に話かけてきます。

「先生、僕のマスクのカバーがありません」

よくよく聞いてみると、マスク入れの黒い袋を手を持ってきたはずですが、どうやら、途中で落としてしまったらしいのです。袋を探すのも大事ですが、間もなく授業が始まるので、その子には教室に行くように指示をしようとしたとき、1年3組の女の子が「先生これ落ちてました」と、まさにその袋を私に届けてくれました。よほどその男の子はほっとしたらしく「ありがとうございました！」とその1年生の女の子に丁寧に御礼を伝えてくれました。御礼を言われた女の子も嬉しかったらしく、（にこっと）微笑んでくれました。外はこの日も炎天下でしたが、とてもよい風景を見て、（こんな風にして子供は育っていくんだなあ）と今更ながら感心していました。

小野小学校の先生方は本当に子供への関わり方が上手で、手厚く、写真上は、昇降口で何と一人の子を4人（志摩先生、寺林先生、二階先生、高階先生）で迎えてくれています。

また、上から2番目の写真は、3年4組の畠山靖子先生と子供たちが校庭で植物の観察をしたり、1年生が校庭を歩きながら校地内の決まりを確認したりしているところです。1年生も3年生も外でも集中を切らさず、先生方の指示をきちんと聞いているので、ここでも感心することばかりです。また、3年4組も外で理科をしていて、中津川先生が「あの時計で3時15分まで・・・」と指示をすると、子供たちから「先生、時計壊れています」という声が聞かれ、すかさず中津川先生が「大丈夫直っていますよ。」と自信をもって応えてくれました。（間に合わせていただいた教育委員会の皆さん、ありがとうございました）

入学式から始まった1週間。私を含めみんなが初めての分散登校でしたが、学校も、保護者の方も、みんなが再開を願って、「子供たちのために」という思いを一つにできたからこそ実現できたものと思います。

来週は分散登校に続いて12日からいよいよ一斉登校。本日、保護者の皆様には12日からの本校の取り組みの概要をまとめた「小野小学校 学校再開 学びの保証」プロジェクトについての概要版を配布しました。（上から3番目の写真）私たち小野小学校が6月12日からの一斉登校で、どのように感染予防と子供たちの学びの保証に取り組むのか、御理解いただくことが目的です。それにしても、本当に今週の暑さは応えました。そんな中、朝の検温から交通指導、児童の児童館への引率、授業、校内の消毒・・・そばで見えていても皆さんの頑張りには本当に頭が下がります。1週間ありがとうございました。週末はどうかゆっくりとお休みください。

（文責：手代木）

